

事業名：観光振興計画推進事業

【事業番号 6224】
観光振興課 観光振興係

政策	02 産業			戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり				
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標						
対象（誰、何に対して事業を行うのか）						
江別市外の人						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	江別市外の人（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）						
地方創生推進交付金を活用し、江別市観光振興計画に基づき、新たな観光商品の開発やPRによる観光誘客を図るほか、計画推進のための観光人材の育成、推進体制の検討等を実施する。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	事業実施件数	件	6	9	8	7
活動指標 2	観光人材育成セミナー開催回数	回	2	3	2	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
観光振興計画に基づく新たな地域資源の活用や情報発信を実施し道央圏からの誘客による交流人口の増加を図るほか、観光人材の育成や推進体制を検討し観光振興計画の推進を図る。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	観光入込客数	人	1,353,315	1,190,090	1,361,201	1,190,090
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	13,469	10,256	7,185	9,432
正職員人件費 (B)		千円	5,339	7,687	11,444	10,643
総事業費 (A+B)		千円	18,808	17,943	18,629	20,075

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	観光PR動画の作成 観光イラストマップの更新 市内プロモーションの開催 リアル謎解きゲームの開催 事業者向け観光セミナーの開催 サイクルツーリズムセミナーの開催 産業連携新商品開発支援補助金	観光振興計画推進事業委託料（7事業）	6,693千円

事業開始背景	
江別市の交流人口を増やし、地域経済を活性化するために、実際に江別市に来てもらい、まちを知ってもらう事が重要であるため、市民・観光関連事業者・行政など江別市の観光に携わる全ての人が連携を取り合って、平成29年度に策定した江別市観光振興計画に基づき、効果的な観光振興の取組を行うものである。	
事業を取り巻く環境変化	
新型コロナウイルス感染症の拡大により、市をまたぐ移動や不要不急の外出を控えるよう要請があり、観光需要は大きく減少した。一方で、感染拡大防止のための新しい生活様式を守りながら、密を回避し、少人数・近場・巣ごもり・オンライン・テイクアウトといったキーワードでの消費需要が高まっている。	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症の蔓延によりイベントの中止や不要不急の外出を控える要請があったものの、令和2年度から大型複合書店を集計に含めたこともあり、観光入込客数は増加した。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>観光振興計画に基づいた事業は、市全体の観光振興・地域経済等の活性化につながるため、市民、民間、行政が役割を分担しつつ、連携を取り合い、自主的・積極的に取り組んでいくことで、更なる観光振興の向上へつなげる余地がある。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>観光を取り巻く状況は大きく変化しており、観光振興計画に基づく事業の推進により成果指標である観光入込客数の維持または増加を図るには、一定のコストが必要である。</p>

事業名：地域発見魅力発信事業

【事業番号 988】
観光振興課 観光振興係

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

周辺市町村

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーションを実施し、周辺市町村の住民にPRする。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	6	6	6	5
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り、周辺市町村の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数(策定時5施設)	人	186,318	194,451	189,019	180,000
成果指標 2	主要観光施設観光入込客数	人	313,985	335,981	274,249	359,000

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	6,327	3,814	4,282	11,328
正職員人件費(B)		千円	6,102	6,150	6,866	6,842
総事業費(A+B)		千円	12,429	9,964	11,148	18,170

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊事業 ・ノハナショウブ保存活用事業 ・ドライブコースご当地ナビ事業(JAF) ・こどもパスポート事業 ・さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊事業 ・ノハナショウブ保存活用事業 ・ドライブコースご当地ナビ事業(JAF) ・こどもパスポート事業 ・さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会事業 	<ul style="list-style-type: none"> 2,732千円 614千円 35千円 300千円 600千円

事業開始背景
江別市は宿泊施設が少なく、日帰りで訪れる観光客が大部分を占めている。
事業を取り巻く環境変化
国の観光ビジョン策定など観光産業に関する重要度は高まっており、広域観光やインバウンド対応、地域おこし協力隊制度の活用など新たな事業展開が必要となってきた。また、新型コロナウイルス感染症の影響から、新しい生活様式に対応した取組を展開していくことも求められている。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">地域おこし協力隊の外からの視点で地域資源を活用したフリーペーパーを制作したり、SNSによる風景写真等の情報発信を行うことで、市内周遊の促進を行い、周辺市町村から江別市へ足を運んでもらうきっかけ作りを行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から外出自粛等の制限があったため、人流が抑えられ、主要観光施設の観光入込客数は伸びなかった。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	地域おこし協力隊の外からの視点で地域資源を活用したフリーペーパーを制作したり、SNSによる風景写真等の情報発信を行うことで、市内周遊の促進を行い、周辺市町村から江別市へ足を運んでもらうきっかけ作りを行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から外出自粛等の制限があったため、人流が抑えられ、主要観光施設の観光入込客数は伸びなかった。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	地域おこし協力隊の外からの視点で地域資源を活用したフリーペーパーを制作したり、SNSによる風景写真等の情報発信を行うことで、市内周遊の促進を行い、周辺市町村から江別市へ足を運んでもらうきっかけ作りを行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から外出自粛等の制限があったため、人流が抑えられ、主要観光施設の観光入込客数は伸びなかった。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="padding: 5px;">新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに外出等が出来るようになれば、人流が増え、観光入込客数は現状よりも増加する余地がある。また、周辺市町村においても江別市の観光の魅力を知らない人がまだ多く存在するため、江別市の魅力の知名度を高めることで、市内への入込客数を増加させる余地がある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに外出等が出来るようになれば、人流が増え、観光入込客数は現状よりも増加する余地がある。また、周辺市町村においても江別市の観光の魅力を知らない人がまだ多く存在するため、江別市の魅力の知名度を高めることで、市内への入込客数を増加させる余地がある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに外出等が出来るようになれば、人流が増え、観光入込客数は現状よりも増加する余地がある。また、周辺市町村においても江別市の観光の魅力を知らない人がまだ多く存在するため、江別市の魅力の知名度を高めることで、市内への入込客数を増加させる余地がある。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="padding: 5px;">大規模観光産業がない江別市においては、市内への誘客に向けた取組について行政のサポートが必要な状況であるため、引き続きイベントや冊子、SNSを活用した情報発信及びプロモーションを継続して行っていく必要がある段階である。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	大規模観光産業がない江別市においては、市内への誘客に向けた取組について行政のサポートが必要な状況であるため、引き続きイベントや冊子、SNSを活用した情報発信及びプロモーションを継続して行っていく必要がある段階である。	なし	
ある	理由 根拠	大規模観光産業がない江別市においては、市内への誘客に向けた取組について行政のサポートが必要な状況であるため、引き続きイベントや冊子、SNSを活用した情報発信及びプロモーションを継続して行っていく必要がある段階である。				
なし						

政策	02 産業			戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり				
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び観光客

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883
対象指標 2	観光入込客数	人	1,353,315	1,190,090	1,361,201	1,190,090

手段（事務事業の内容、手法）

歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	営業日数	日	361	362	362	362
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市をはじめ、姉妹都市グレスヤム市及び友好都市土佐市の特産品のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	21,108	23,708	16,659	23,708
成果指標 2	アンテナショップ来店者数（市外）	人	5,857	6,511	3,972	6,511

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	7,395	7,599	7,966	8,711
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,844	3,815	3,801
総事業費 (A+B)		千円	11,209	11,443	11,781	12,512

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別アンテナショップGET'S管理運営 壁面黒板チョークアート 	<ul style="list-style-type: none"> 江別アンテナショップGET'S管理運営費 7,524千円 チョークアート制作関連費 238千円 電柱看板広告料 165千円

事業開始背景	
江別グレシャムアンテナショップとして、旧ヒダ工場の一部利活用を図ってきたが、商業施設として施設全体が活用されることに伴い、江別の魅力発信や観光案内等の新たな機能を加え、江別アンテナショップGET'Sとしてリニューアルした。	
事業を取り巻く環境変化	
アンテナショップの来店者数増加に向け、友好都市の特産品販売イベント等を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により営業の制限や人流の抑制がされるといった背景から、来店者数を増加させるのが難しい状況となっている。そのため、今後は新しい生活様式に沿った営業を行いながら、来店者数を増加させる取組を行うことが求められる。	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）			
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により、店の営業時間が短縮されたり、外出自粛によって人流が抑制されるといった制限があったことから、昨年度と比較して来店者数が減少した。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？			
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに、店の営業及び外出を行えるようになると共に、今後も、友好都市の特産品を販売するイベントや江別の観光情報の発信等を継続して行っていくことで、来店者数が増加する余地がある。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
コスト	ある	理由根拠	現状、必要最低限のコストであるため、経費を削減することは、施設の管理運営に支障をきたす可能性があるため難しい。
	なし		

事業名：都市と農村交流事業

【事業番号 764】
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業		戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり			
取組の基本方針	01 都市型農業の推進		具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化			
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	924	882	924
対象指標 2	市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流事業に対して補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	イベント開催回数	回	17	15	6	15
活動指標 2	各部会等開催回数	回	10	8	7	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生産者と消費者との相互理解を深め、グリーンツーリズム関連施設（農作業体験施設、農家レストラン、農産物直売所など）の利用増を図ることで、市民の地産地消や農村地域の活性化につなげる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	614,959	596,862	545,905	597,000
成果指標 2	イベント参加者の満足度	%	100	100	100	100

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	1,130	1,010	976	1,700
正職員人件費 (B)		千円	5,339	5,381	5,340	5,321
総事業費 (A+B)		千円	6,469	6,391	6,316	7,021

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会への補助（協議会の事業内容：直売所MAP作成、831の日キャンペーン開催、農畜産物加工品ブランド認証、加工品フェア開催、加工研修会開催など） 6次産業化支援のための農業者等への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会への補助 農畜産物加工新商品開発等支援補助金 	634千円 342千円

事業開始背景
農業への関心を高めてもらう機会を提供する場として、産地直売所や貸し農園（観光農園）などを通じた「まち」と「むら」のふれあい交流・体験活動を行っていることと市内の産地直売所17ヶ所と貸し農園6ヶ所により、江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会が平成17年5月24日に設立された。
事業を取り巻く環境変化
消費者との交流を図りながら、ニーズに応えた活動を展開している。令和2年からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人流の抑制等が求められる状況にあり、多くの人を集めるイベントの実施が困難な状況にある。

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p style="background-color: black; color: white;">上がっていない</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市外、道外からの来客が多かった施設では利用者数は大きく減少した。また、イベントについても多くが開催困難となった。一部イベントは感染対策を取ったうえで開催したが、密にならないよう主催者・参加者の人数制限を行う等の措置が必要であったため、指標である施設利用者数は減少した。実施したイベントについては引き続き高い満足度を得ている。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 小</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、人流抑制が求められる状況下では、利用者数増は難しい状況であるが、引き続き様々な手法での情報発信等を継続して実施していくことが重要だと考える。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	理由根拠	<p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white;">なし</p> <p>各種イベント等の開催に係る必要最低限のコストで実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい。</p>

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	924	882	924
対象指標 2	市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883

手段（事務事業の内容、手法）

〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給への支援に対して補助する。
 〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。
 ①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額（小麦関係）	千円	2,125	1,847	1,583	1,583
活動指標 2	精液購入等補助金額	千円	610	700	610	700

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

農畜産物の安定生産及び安定供給を図ることで、既存商品の維持や新商品開発等につなげるとともに、市民への認知度を高めていく。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	特産品の認知回数	品目	2	2	2	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	2,735	2,547	2,193	2,283
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,844	3,815	3,801
総事業費 (A+B)		千円	6,549	6,391	6,008	6,084

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小麦生産団体への補助 ・和牛生産団体への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化小麦地域安定供給支援事業補助 1,583千円 ・黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 610千円 	

事業開始背景	
<p>小麦品種「ハルユタカ」は全国的に知名度があり、特に江別産のイメージが強く、ブランド化できる品種として有望である。しかし、「ハルユタカ」は収量が不安定なことから、全道的に収穫量が減少し、これに伴って種子生産量も減少した。市内の作付面積確保には種子を自前で用意する必要がある。本事業では種子不作時の補てんを目的とした基金を設立し、種子生産拡大を誘導することによって「ハルユタカ」生産量の拡大を目指すこととした。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>黒毛和牛については、飼料価格や素牛価格の高騰、枝肉取引価格の下落等、肉牛生産農家は厳しい状況に直面している。中力系小麦品種「きたほなみ」は、パンやラーメンでは「ハルユタカ」のブレンド用粉として使用され、うどんやお菓子にも使用されている江別産小麦製品として無くてはならない品種だが、現行の国の農業政策である経営所得安定対策においては、パンや中華麺用の強力・超強力系品種への交付金に加算措置を設けるなどの作付誘導策がとられており、市内においても「ゆめちから」をはじめとした強力・超強力系品種へ作付をシフトする生産者が増加し、「きたほなみ」の収量確保が困難となる可能性が出てきた。</p>	

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>成果指標は、すでにブランディングされている小麦「麦の里えべつ」と黒毛和牛「えぞ但馬牛」の2品目で横ばいだが、小麦で加工品に欠かせない小麦品種「きたほなみ」の一定確保につながり、全道の黒毛和種の上物率（枝肉格付けA-5・A-4の割合）は72.0%に対し、江別の黒毛和種「えぞ但馬牛」は77.8%となっていることから、成果は向上していると考えられる。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>事業を継続し、小麦品種や黒毛和種の安定供給を図ることで、製品の拡大や付加価値の向上につながる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>現在の飼料価格や素牛価格の高騰、さらに、国の強力粉加算の動向等を踏まえると、市内で生産される黒毛和牛や小麦品種の安定供給には、現状の支援を継続していく必要がある。</p>		